

2017 Seisa Dohto class for DELIVERY (星槎道都大学出張授業プログラム)

経済・経営系 講座

番号	E-1	担当教員	経営学科 河野 善文 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	値段の不思議 ～買い手の心理から見た価格のしくみ～				
授業内容	経済学や経営学と聞くと、何か難しいイメージをもたれるかもしれませんが。しかし、身近なふだんの生活のなかにも、経済・経営に関係するものが数多くあります。たとえば、お店の売り場で目にする商品の値段。ふだん何気なく見ている値段にも、売る側のさまざまな思いがこめられています。そこでこの授業では、買い手の心理と価格とをテーマとして、商品の値段の不思議から経済・経営の問題を考えてみたいと思います。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	授業のテーマは買い手の心理と価格との関係です。この授業をつうじて、大学でまなぶ経済や経営の話が、実はふだんの生活と深く関係していることを知ってもらえればと思います。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)

番号	E-2	担当教員	経営学科 信濃 吉彦 教授	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	経営学って何なの？				
授業内容	将来の専門学習範囲・研究対象として経営学は自分にあるのか。自分の現在の認識は正しいのか。経済学と何が違うのか。など生徒や保護者が陥りやすい間違いや勘違いに対する気づきを促すとともに、将来設計のひとつとして経営学の分野が今の社会にどのように影響を与えているのか。経営学部にも所属する学生が経営学をどのように使っているのかなどを解説・紹介し進路指導上の一助としていただきたい。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	経営学に関するそもそも論(何なの？、対象範囲は広いの？、戦略ってなに？、経済学とどう違うの？)とバランス理論に関して判りやすく解説します。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)

番号	E-3	担当教員	経営学科 石山 玄幸 特任講師	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	社長の仕事とは？ ～働くことの意義を学ぼう～				
授業内容	この講義は社長＝経営者の仕事とはどんな仕事なのか？というところから始まり、経営者が労働者に求めること、一方、労働者が経営者に求めること、それぞれのギャップから、働くことの意義について学びきっかけとする内容です。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	本講義は、社長の仕事から、経営学の基礎となるマネジメントの概念を学ぶことをねらいとしながら、働くことの意義について考えるきっかけとすることを目的としています。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)

番号	E-4	担当教員	経営学科 石山 玄幸 特任講師	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	経済学と経営学の違い				
授業内容	この講義は、大学に進学することの意義に始まり、一般的に経済学と経営学が一括りにされていることから、経済学と経営学の歴史的な成り立ちから、それぞれの特徴についてわかりやすく説明することで、受講する生徒が経済学と経営学の違いについて理解してもらった上で進路を決めるきっかけとする内容です。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	本講義は、経済と経営が一般的に一括りにされてることから、経済と経営の違いを知ってもらうことをねらいとして、経営学に関心を持ってもらうことを目的としています。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)

番号	E-5	担当教員	経営学科 石山 玄幸 特任講師	対象生徒	全ての課程・学年
授業題目	あの企業はなぜ儲けるのか!? ～商品が売れるには必ず理由がある～				
授業内容	この講義は、誰もが知っているコンビニエンスストアなど、身近な企業を題材として、その企業の商品・サービスが売れている背景には、従業員が戦略的に仕掛けをしているからであり、その仕掛けとは、どんな仕掛けなのかをわかりやすく説明することで、社会人は、日々、どんな使命を持って職務を遂行しているかを学ぶ内容です。				
受講する生徒に望むもの (授業のねらい)	本講義は、身近に知られている企業がなぜ儲けるのか、その理由について分析・解説することで、マーケティングの概念を学ぶことをねらいとしながら、社会人が日々努力していることを知ってもらうことを目的としています。			授業形式	講義
				受講定員	40名(クラス単位)